

水稲トビイロウンカの最終防除の徹底を！

本年、トビイロウンカについては、発生予察注意報第3号(8月22日)並びに植物防疫情報第3号(9月19日)を発表し、防除の徹底をお願いしているところです。その後、病虫害防除所が9月24～25日に巡回調査を行った結果、県南部地帯での発生圃場率は41.2%と前回調査からやや減少しているものの、株当たり虫数は2.9頭と依然減少しておらず、株当たり虫数が前回調査よりも急増している圃場もあります。現在、県南の東部地域や西部地域の一部で、トビイロウンカによる坪枯れの発生が確認されはじめており、今後、**中生・晩生品種の収穫に向けて、最終防除の徹底をお願いします。**

《防除対策》

- (1) すでに坪枯れの症状が発生している圃場、またはトビイロウンカの株元生息数が多く坪枯れの発生が予想される圃場では防除を徹底する。なお、本虫は圃場内で局所的に生息するため、圃場の中央部まで入りながら、なるべく多くの株元をよく観察する。
- (2) この時期の防除には、効果の発現の遅い粒剤は用いず、粉剤、液剤を散布する。粉剤、液剤は、虫体にかかると十分な効果が得られないので、**株元に生息するトビイロウンカにかかるように丁寧に散布する。**なお、収穫期が近い場合の薬剤散布は、特に農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して行う。

表 水稲におけるトビイロウンカの主な防除薬剤

薬 剤 名	農 薬 使 用 基 準		
	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用濃度・使用量
トレボン粉剤DL ¹⁾	収穫7日前まで	3回以内	3～4kg/10a
MR. ジョーカー EW ¹⁾	収穫14日前まで	2回以内	2,000倍
MR. ジョーカー粉剤DL ¹⁾	収穫7日前まで		3～4kg/10a
ベストガード水溶剤	収穫14日前まで	4回以内	2,000～4,000倍
スタークル/アルバリン粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3kg/10a
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	収穫7日前まで		3,000倍
ダントツ粉剤DL	収穫7日前まで	3回以内	3～4kg/10a
ダントツ水溶剤	収穫7日前まで		4,000倍

¹⁾ の薬剤は水産動植物に対する危害が発生しやすい地域及び発生するおそれのある地域では使用しない。
農薬の使用に当たってはラベルをよく読み、農薬使用基準を厳守する。また、ドリフトに注意するなど安全・適正に使用する。

この情報は、発生予察注意報第3号および植物防疫情報第3号とともに、岡山県病虫害防除所ホームページでも公表しています。

アドレスは、http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239 です。